

フリガナ			性別		
お名前			年代	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上	
連絡先	住所	〒			
	電話				
	FAX				
	Eメール				
参加希望	<input type="checkbox"/> 3回連続受講		<input type="checkbox"/> 2月3日公開講座のみ受講		
託児 生後6ヶ月から 小学2年生まで 託児はかごしま県 民交流センターで 行います ※要予約	お子様 について	フリガナ	性別	年齢(申込時点)	
		お名前		歳 ヶ月	
	フリガナ	性別	年齢(申込時点)		
	お名前		歳 ヶ月		
参加希望理由					

※個人情報、本講座の連絡及び男女共同参画、マルヤガーデンズアカデミーに関する情報提供以外には使用致しません。

申込み先
 鹿児島県男女共同参画センター
 TEL 099-221-6603
 FAX 099-221-6640
 E-mail p-harmony@pref.kagoshima.lg.jp
 マルヤガーデンズ オペレーションセンター
 TEL 099-813-8108

申込み方法
 鹿児島県男女共同参画センター
 ①申込み用紙にてメール・FAXで申し込む(24時間受付)
 ②お電話または直接男女共同参画センターで申し込む
 (受付時間9時~17時/月曜休館※祝日の場合は翌日)
 マルヤガーデンズ
 ③お電話または直接マルヤガーデンズ1階インフォメーションで申し込む(受付時間10時~20時)

実施団体 ピア・スタディング ● この講座は鹿児島県、マルヤガーデンズ、ピア・スタディングの協働で実施します ●

わたし × 働くの これからをデザインする **3Days**

1 日目

“わたし” × “働く”の
これまでを知り これからを考える

講師

浜田敬子さん

BUSINESS INSIDER JAPAN 統括編集長
AERA 前編集長

1989年に朝日新聞社に入社。前橋支局、仙台支局、週刊朝日編集部を経て、99年からAERA編集部。記者として女性の生き方や働く職場の問題、また国際ニュースなどを中心に取材。米同時多発テロやイラク戦争などは現地にて取材をする。2004年からはAERA副編集長。その後、編集長代理を経て、AERA初の女性編集長に就任。

編集長時代は、オンラインメディアとのコラボや、外部のプロデューサーによる「特別編集長号」など新機軸に次々挑戦した。

2016年5月より朝日新聞社総合プロデュース室プロデューサーとして、「働く×子育てのこれからを考える」プロジェクト「WORKO!」や「働き方を考える」シンポジウムなどをプロデュースする。2017年3月末で朝日新聞社退社。

2017年4月より世界14カ国に展開するオンライン経済メディアの日本版統括編集長に就任。

「羽鳥慎一モーニングショー」や「サンデーモーニング」などのコメンテーターや、ダイバーシティや働き方改革についての講演なども行う。



公開講座 平成29年度 鹿児島県いきいきと働く女性応援事業キャリアデザインセミナー「わたし × 働くの これからをデザインする3Days」の1日目は、長年、記者として女性の生き方や働く職場の問題を取材してこられた浜田敬子さんをお迎えし広く皆さまにご参加いただける公開講座として開催します！

鹿児島県キャリアデザインセミナー × マルヤガーデンズアカデミー

問合せ先 ● 鹿児島県男女共同参画センター
 〒892-0816 TEL 099-221-6603 FAX 099-221-6640
 鹿児島市山下町 14-50 E-mail p-harmony@pref.kagoshima.lg.jp

主催 ● 鹿児島県 ● 共催 ● Maruya gardens

2018
2.3 / 土
 14:00 - 16:00

会 場 ● マルヤガーデンズ
 5階アートギャラリー

定員 **100** 参加 **無料**

わたし × 働くの これからをデザインする 3Days

「ずっと働き続けたいけど…会社には育休をとった先輩がいないから…」

「子どもが小学校に上がってからは色々あって仕事を続けるのが難しくなり、辞めてしまいました。」

「管理職にと打診されました。子どもがまだ小さいけど、夫の帰りはいつも遅く家事・育児への協力は期待できません。やってみたい気持ちはあるけど、無理かなあ〜。」

「働きはじめてから20年、ずっと非正規雇用です。貯金もできなくて将来が不安です。」

「ずっと主婦をしてきました。面接に行くと『経験がないんですね〜』と言われることが多くて…。ちょっと自信をなくしてしまいました。」

「短時間勤務で働いています。時間内にやりきれない事が多く同僚に迷惑をかけていて…とても心苦しいです。」

「育児中の私は、簡単な仕事しかさせてもらえなくて…それでも、両立は結構大変で…。ここまでして、やりがいもなく働き続ける意味があるかなあ〜と…。最近、ふと考えてしまいます。」

この社会の中で、私たち女性は、ライフステージの様々な段階で経験する可能性のある結婚、出産、育児、介護等のライフイベントによって“働き方をどうするか”という選択を求められることが多い“性”を生きています。

それぞれの望む“わたし”と、現在の“働く”状況の間には隔たりがあり…多くの女性たちが仕事と生活の両立に困難を抱え、先の見えない将来を心配しています。

鹿児島県では平成28年度に「鹿児島県女性活躍推進計画」を策定し、自らの希望により、働き又は働こうとするすべての女性が、その個性と能力を十分に発揮し、男女がともに安心していきいきと働くことができる「鹿児島」の実現を目指し取組を進めています。

制度は整いつつあります…。 “そして、わたしはどうしたいのか…”

あらためて私たちも“働く”ということについて向き合ってみたいと思い、ここに「わたし × 働くの これからをデザインする3Days」を開講します！

1 日目 公開講座として実施しますが、申込み多数の場合は3回連続受講の希望者を優先します。

対 象 1 日目 どなたでも
2・3 日目 自分の“これから”を“働く”という
ことを切り口に考えてみたい女性

定 員 1 日目 100 名
2・3 日目 30 名

託 児 有 1/24 (水) 申込締切
6ヶ月～小学2年生まで
託児はかごしま県民交流センターで行います

駐 車 無料 駐車場はマルヤガーデンズパー
キング (3階連絡通路で直結)、
丸屋第一駐車場、丸屋第三駐
車場をご利用ください。

実 施 団 体 ピア・スタディング
かごしま女性政策研究会に所属する20代～40代のメンバーが
中心となって男女共同参画に関して学んでいるグループです。

男女共同参画の視点でみる 私たちの“働く”にまつわる数字

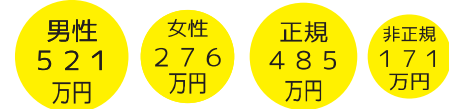
働いているか・いないか、結婚しているか・いないか、子どもがいるか・いないか etc…。 とかく二分されがちな私たち女性ですが…、それぞれが抱える問題の根っこは同じなのでは？と…これらの数字が問いかけているように思い…、私たちは男女共同参画を学び続けています…。是非、あなたも一緒に学んでみませんか？

72.2

男性一般労働者を100
とした場合の女性一般労働者の
給与水準

厚生労働省「賃金構造基本統計調査」平成27年

国税庁の平成27年分「民間給与実態統計調査」によると1年を通じて勤務した給与と所得者の1人当たりの平均給与は…



正規雇用 男性 539万円 女性 367万円
非正規雇用 男性 226万円 女性 147万円

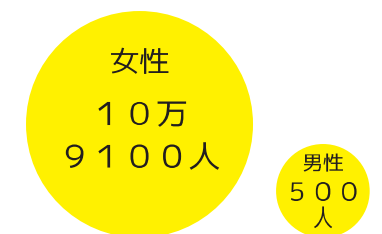
1,962万人

2014年の非正規雇用者数
(1990年は881万人)

正規雇用については、男性が
多数(約7割)を占め、非正規
雇用については、女性が多数
(約7割)を占めています。

総務省統計局ホームページ

「結婚」で仕事を辞めた人の数



厚生労働省「雇用動向調査」平成27年

67.7%

女性の労働力率を年齢階級別にみた
場合最も落ち込みが見られる「35
-39歳」の労働力率

結婚後に27.7%、第1子出産で更
に36.0%が離職しており、結婚
と出産を契機に6割強の女性が退
職を選んでいる。

「男女共同参画白書 平成25年版」内閣府

介護・看護を理由とした離職者



「男女共同参画白書 平成29年版」内閣府

2 日目 “働く” × “壁” 働く女性を支える法や制度をてがかりに

2.11 / 日
13:00 - 15:30
会 マルヤガーデンズ
場 7階 garden7

講師 大庭直美 さん 鹿児島労働局 雇用環境・均等室長
高丸理香 さん 鹿児島大学高等教育研究開発センター助教
(キャリアコンサルタント)

昭和60年5月に「男女雇用機会均等法」が成立してから30年。この30年の間に、「育児・介護休業法」「パートタイム労働法」等、主に女性の就労環境を改善する法律が整備され、様々な取組が進められてきましたが、今なお、働く女性の置かれている環境には様々な課題があります。

働く私たちを支える法や制度を手がかりに…働きにくさや、生きづらさの“根っこ”を探り、一人ひとりの“働く”に立ちほだかるそれぞれの“壁”は何なのか etc…多様な立場にある参加者との対話を通して“働く”ことを主体的に考えてみたいと思います。

3 日目 “わたし” × “働く” のこれからをデザインしよう

2.17 / 土
13:00 - 15:30
会 マルヤガーデンズ
場 7階 garden7

講師 山下亜紀子 さん 九州大学人間環境学研究院 人間科学部門准教授
高崎恵 さん ワークショップデザイナー / 多様性トレーナー

育児支援が整備される中、育児支援の網の目からこぼれ落ちている障害児、病児の家族の生活実態を明らかにし、支援方策について検討する等、現代家族が直面する福祉的課題を地域社会で支える方策について検討している山下さんに、これからの育児や高齢期の在り方への展望を示して頂いた上で、私たちの一人ひとりの“わたし” × “働く” のこれからについてみんなで考えてみたいと思います。